

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・重度・重複学級・1グループ		担当者名	○岩撫 聡子
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (2)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (3)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・4校時・10:45～11:35 木曜日・5校時・11:40～12:30			
指導場所		1年A組教室			
年間授業時数		78 時間			
使用教科書		あっちゃんあがつくたべものあいうえお (リーブル)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	自己紹介	7	○絵カード等を活用し、自己紹介をすることができる。 □絵カードや手順表を見ながらカードを貼り、ポスターを作る。(知識・技能) □ポスター等を活用して、自己紹介をする。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・人物の写真カード、食べ物カード等、興味のある対象物のカードを準備し、選択できるようにする。
5	物語を読もう①	7	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、登場人物やあらすじを答える。(知識・技能) □絵カード等を活用し簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味関心をもって聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・絵本や動画を提示し、繰り返し読み聞かせをすることで、内容を理解することができるようにする。
6	聞いて答えよう①	9	○相手の話を注意深く聞き、口頭で伝えられた名詞が分かる。 □指示された名詞が何を指しているか聞き取る。(知識・技能) □口頭で指示された物を正しく選んで持ってくる。(思考・判断・表現) □関心をもって注意深く相手の話を聞こうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・日常的に使用している物や生徒が興味のあるものを用いる。
7	聞いて答えよう②	6	○相手の話を注意深く聞き、口頭で伝えられた複数の名詞が分かる。 □指示された複数の名詞が何を指しているか聞き取る。(知識・技能) □口頭で指示された物を正しく選んで持ってくる。(思考・判断・表現) □関心をもって注意深く相手の話を聞こうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・日常的に使用している物や生徒が興味のあるものを用いる。
9	動きの言葉	8	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)		・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。
10	気持ち・様子を表す言葉	7	○イラストや写真を見て気持ちや様子を表す言葉を選ぶことができる。 □イラストや写真を見て、当てはまる表現の言葉を選ぶ。(知識・技能) □気持ちや様子を表す言葉を聞いて、当てはまる絵カードを選ぶ。(思考・判断・表現) □気持ちや様子を表す言葉を活用して伝えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・日常生活の中で、気持ちや体調を伝える時に繰り返し使い、伝える方法として定着させる。
11	表現力を高めよう	8	○劇の内容を理解し、役の台詞(動き)を覚え表現することができる。 □劇のストーリーの読み聞かせを聞いて、自分の役割を知る。(知識・技能) □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・文化祭の劇のストーリーをスライド映像で見る。 ・場面のBGMを流して、場面のイメージを把握できるようにする。
12	年賀状を書こう	8	○干支について学び、日本の伝統風習である年賀状を書くことができる。 □今年と来年の干支が分かり、年賀状を書く。(知識・技能) □スタンプやシールを活用しながら、工夫して年賀状を書く。(思考・判断・表現) □年賀状の内容を主体的に考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・干支や新年の挨拶の文字の中から自分で選んで年賀状を作る。 ・自分の名前については模写やなぞり書きができるよう、枠を準備する。
1	書写(書道)	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・あらかじめ、興味がある物の文字を提示して書きたい文字を選び、手本を準備する。・手本を下に置き、鉛筆で下書きをする等文字の形が分かるように準備する。
2	物語を読もう②	7	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、登場人物やあらすじを答える。(知識・技能) □絵カード等を活用し簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味関心をもって聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・絵本や動画を提示し、繰り返し読み聞かせをすることで、内容を理解することができるようにする。
3	1年間の思い出をまとめよう	6	○1年間の思い出を振り返り、経験したことで気持ちをまとめることができる。 □VTR教材や絵カード等で、経験した出来事を整理する。(知識・技能) □印象に残っている出来事を選び、発表する。(思考・判断・表現) □自分の経験や気持ちを積極的に伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・ICT機器を活用して1年間を振り返る。・行事の写真とこれまで学習してきた気持ちのカードを使い、何の場面でどんな気持ちだったかを引き出す。
備考		年間を通して、1コマの前半は上記単元を全体学習として取扱い、後半は、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題(自立活動の視点で設定した書字・操作課題等含む)に取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・2グループ		担当者名	○村岡夏希
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)身近な人との会話をとおして、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れる。 (2)身近な人の話に慣れ、簡単な言葉と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。 (3)言葉がもつ良さを感じるとともに、言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・4校時・10:45～11:35 木曜日・5校時・11:40～12:30			
指導場所		1年C組教室			
年間授業時数		78 時間			
使用教科書		五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば(偕成社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	自己紹介	7	○絵カード等を活用し、自己紹介をすることができる。 □絵カードや手順表を見ながらカードを貼り、ポスターを作る。(知識・技能) □ポスター等を活用して、自己紹介をする。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)		・人物の写真カード、食べ物カード、興味のある対象物のカードを準備し、選択できるようにする。
5	動きの言葉	7	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)		・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。
6	聞いて答えよう	9	○相手の話を注意深く聞き、口頭で伝えられた名詞が分かる。 □指示された名詞が何を指しているか聞き取る。(知識・技能) □口頭で指示された物を正しく選んで持ってくる。(思考・判断・表現) □関心をもって注意深く相手の話を聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・日常的に使用している物や生徒が興味のあるものを用いる。
7	気持ち・様子を表す言葉	6	○イラストや写真を見て気持ちや様子を表す言葉を選ぶことができる。 □イラストや写真を見て、当てはまる表現の言葉を知る。(知識・技能) □気持ちや様子を表す言葉を選び、当てはまる絵カードを選ぶ。(思考・判断・表現) □気持ちや様子を表す言葉を活用して伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・表情カードを用いて、気持ちを読み取ることができるようにする。
9	2語文の作成	8	○言葉の意味を正しく捉え、表現する。 □絵カード等、視覚的に示された課題と合った言葉を選ぶことができる。(知識・技能) □絵カード、文字カードを正しくつなげ、意味のある文章を作ることができる。(知識・技能)		・2語文の絵カードを用いて、動きを付けて注視を促す。
10	敬語で答えよう	7	○適切な敬語(丁寧語)を活用し、話すことができる。 □どのような場面で敬語を使うことがふさわしいかを知る。(知識・技能) □話し言葉を丁寧語に直して話す。(思考・判断・表現) □自分から敬語を使って話す。(主体的に学習に取り組む態度)		・日常生活の中で、気持ちや体調を伝える時に繰り返し使い、伝える方法として定着できるようにする。
11	表現力を高めよう	8	○劇の内容を理解し、役の台詞(動き)を覚え表現することができる。 □劇のストーリーの読み聞かせを聞いて、自分の役割を知る。(知識・技能) □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現しようとしている。(主体的に学習に向かう態度)		・文化祭の劇のストーリーをスライドの映像で見る。 ・場面のBGMを流して、場面のイメージを把握できるようにする。
12	年賀状について	8	○年賀状の意味、出す時期を知り、年賀状を作成することができる。 □年賀状の役割、出す時期を知る。(知識・技能) □年賀状の役割を理解して作成する。(思考・判断・表現) □工夫して年賀状作成をしようとしている。(主体的に学習に向かう態度)		・年賀状に関する動画を見る。 ・「挨拶」「干支」などのパーツを並べ替えて作成できるようなものを準備する。
1	書写(書道)	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・あらかじめ、興味がある物の文字を提示して書きたい文字を選び、手本を準備する。
2	物語を読もう	7	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、登場人物やあらすじを答える。(知識・技能) □絵カード等を活用し簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味関心をもって聞こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・絵本や動画を提示し、繰り返し読み聞かせをすることで、内容を理解することができるようにする。
3	1年間の思い出をまとめよう	6	○1年間の思い出を振り返り、経験したことやその時の気持ちをまとめることができる。 □VTR教材や絵カード等で、経験した出来事を整理する。(知識・技能) □印象に残っている出来事を選び、発表する。(思考・判断・表現) □自分の経験や気持ちを積極的に伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・行事の写真とこれまで学習してきた気持ちのカードを用意し、何の場面でどんな気持ちだったかを引き出す。
備考		年間を通して、1コマの前半は上記単元を全体学習として取扱い、後半は、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題に取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・3グループ		担当者名	○村岡夏希
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活や社会生活に必要な言葉を理解し、言語文化に親しむことができる。 (2)豊かに感じたり想像したりする力を養い、人との関わりで伝え合う力を高める。 (3)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・3校時・9:50～10:40 木曜日・6校時・13:20～14:10			
指導場所		1年D組教室			
年間授業時数		78 時間			
使用教科書		五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば(偕成社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	自己紹介	7	○自己紹介で伝える内容を整理して伝えることができる。 □必要な項目について整理し、プリントにまとめる。(知識・技能) □自分が相手に伝えたいことを考え、発表する。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・発表の仕方のポイントを分かりやすく提示する。 ・実態に応じたワークシートを作成する。	
5	動詞①	7	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)	・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。	
6	読んで答えよう	9	○文章を読んで内容を理解し、簡単な問に答えることができる。 □短い文章を読み、内容を理解する。(知識・技能) □文章の内容について簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □文章の内容について主体的に説明する。(主体的に学習に取り組む態度)	・文章の内容をイメージできるように、具体物やICT機器を活用して映像を提示する。	
7	気持ちを表す言葉	6	○気持ちを表す言葉の使い方を理解し、文章や会話に生かすことができる。 □絵や写真を見て、様々な気持ちを表す言葉をイメージする。(知識・技能) □自分から修飾語を使って会話する。(主体的に学習に取り組む態度)	・文章の内容をイメージできるように、ICT機器を活用してイラストや映像を提示する。 ・実態に応じたワークシートを作成する。	
9	助詞「が・で・に・を」	8	○助詞の役割を学び、活用して短文を作ることができる。 □穴埋め問題で適切な助詞を選ぶ。(知識・技能) □助詞を活用して二語文を作成する。(思考・判断・表現) □主体的に助詞を活用して会話する。(主体的に学習に取り組む態度)	・名詞と動詞と助詞のカードを使い、使い方の定着を図る。 ・実態に応じたワークシートを作成する。	
10	詩や俳句に親しもう	7	○視野俳句の言葉の響きやリズムを味わい、感じ取ることができる。 □詩や俳句の特徴を知る。(知識・技能) □詩や俳句に表された情景や気持ちを想像し、読み取る。(思考・判断・表現) □詩や俳句にふれ、言葉の響きや表現に興味を持って取り組む。(主体的に学習に取り組む態度)	・季節に関する言葉を提示する。 ・実態に応じたワークシートを作成する。	
11	物語を読もう	8	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、話のあらすじを知る。(知識・技能) □話の内容について質問に適切に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味関心をもって聞く。(主体的に学習に取り組む態度)	・実態に応じたワークシートを作成する。 ・比較的短い物語を選択し、読み聞かせや動画視聴を重ねることで、内容の読解につなげる。	
12	表現力を高めよう	8	○劇の内容を理解し、役の台詞(動き)を覚え表現することができる。 □劇のストーリーの読み聞かせを聞いて、自分の役割を知る。(知識・技能) □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現する。(主体的に学習に取り組む態度)	・文化祭の劇の台本をより理解できるように、ICT機器を活用して、イメージを広げる。	
1	書写(書道)	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組む。(主体的に学習に取り組む態度)	・手本を用意し、毛筆書写のポイントを伝える。 ・書きたい文字が決まったら、それぞれに手本を用意し、手本を書写する。	
2	動詞②	7	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)	・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。	
3	1年間の思い出をまとめよう	6	○1年間の思い出を振り返り、経験したことやその時の気持ちをまとめることができる。 □VTR教材や絵カード等で、経験した出来事を整理する。(知識・技能) □印象に残っている出来事を選び、発表する。(思考・判断・表現) □自分の経験や気持ちを積極的に伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・行事の写真とこれまで学習してきた気持ちのカードを用意し、何の場面でどんな気持ちだったかを引き出す。	
備考		年間を通して、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題(漢字・作文・手紙の書き方等の課題等含む)にも取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・4グループ		担当者名	○岩撫 聡子
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (2)日常生活や社会生活における人とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 (3)言葉がもつよさに気付くとともに、国語で考えたり、伝えあったりしようとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・3校時・9:50～10:40 木曜日・6校時・13:20～14:10			
指導場所		1年B組			
年間授業時数		78 時間			
使用教科書		五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば(偕成社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	自己紹介	7	○自己紹介で伝える内容を整理して伝えることができる。 □必要な項目について整理し、プリントにまとめる。(知識・技能) □自分が相手に伝えたいことを考え、発表する。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・発表の仕方のポイントを分かりやすく提示する。 ・生徒の実態に応じたワークシートを作成する。
5	動詞①	7	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)		・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。
6	読んで答えよう	9	○文章を読んで内容を理解し、簡単な問に答えることができる。 □短い文章を読み、内容を理解する。(知識・技能) □文章の内容についての簡単な質問に答える。(思考・判断・表現) □文章の内容について主体的に説明しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・文章の内容をイメージできるように、具体物やICT機器を活用して映像を提示する。
7	気持ちを表す言葉	6	○気持ちを表す言葉の使い方を理解し、文章や会話に生かすことができる。 □絵や写真を見て、様々な気持ちを表す言葉をイメージする。(知識・技能) □自分から修飾語を使って会話しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・文章の内容をイメージできるように、ICT機器を活用してイラストや映像を提示する。 ・生徒の実態に応じたワークシートを作成する。
9	助詞「が・で・に・を」	8	○助詞の役割を学び、活用して短文を作ることができる。 □穴埋め問題で適切な助詞を選ぶ。(知識・技能) □助詞を活用して二語文を作成する。(思考・判断・表現) □主体的に助詞を活用して会話する。(主体的に学習に取り組む態度)		・名詞と動詞と助詞のカードを使い、使い方の定着を図る。 ・実態に応じたワークシートを作成する。
10	詩や俳句に親しもう	7	○視野俳句の言葉の響きやリズムを味わい、感じ取ることができる。 □詩や俳句の特徴を知る。(知識・技能) □詩や俳句に表された情景や気持ちを想像し、読み取る。(思考・判断・表現) □詩や俳句にふれ、言葉の響きや表現に興味を持って取り組む。(主体的に学習に取り組む態度)		・季節に関する言葉を提示する。 ・実態に応じたワークシートを作成する。
11	物語を読もう	8	○物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、話のあらすじを知る。(知識・技能) □話の内容について質問に適切に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味関心をもって聞く。(主体的に学習に取り組む態度)		・生徒の実態に応じたワークシートを作成する。・比較的短い物語を選択し、読み聞かせや動画視聴を重ねることで、内容の読解につなげる。
12	表現力を高めよう	8	○劇の内容を理解し、役の台詞(動き)を覚え表現することができる。 □劇のストーリーの読み聞かせを聞いて、自分の役割を知る。(知識・技能) □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・文化祭の劇の台本をより理解できるように、ICT機器を活用して、イメージを広げる。
1	書写(書道)	5	○毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・手本を用意し、毛筆書写のポイントを伝える。 ・書きたい文字が決まったら、それぞれに手本を用意し、手本を書写する。
2	動詞②	7	○動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)		・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。
3	1年間の思い出をまとめよう	6	○1年間の思い出を振り返り、経験したことやその時の気持ちをまとめることができる。 □VTR教材や絵カード等で、経験した出来事を整理する。(知識・技能) □印象に残っている出来事を選び、発表する。(思考・判断・表現) □自分の経験や気持ちを積極的に伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・行事の写真とこれまで学習してきた気持ちのカードを用意し、何の場面でどんな気持ちだったかを引き出す。
備考		年間を通して、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題(漢字・作文・手紙の書き方等の課題等含む)にも取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・5グループ		担当者名	〇堀 雅秀
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (2)日常生活や社会生活における人とかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 (3)言葉のよさに気付くとともに、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・6校時・13:20～14:10 木曜日・6校時・13:20～14:10			
指導場所		1年F組			
年間授業時数		78 時間			
使用教科書		改訂新版 くらしに役立つ国語(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	〇ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	自己紹介	7	〇自己紹介で伝えることを整理して伝えることができる。 □必要な項目について整理し、プリントにまとめる。(知識・技能) □自分が相手に伝えたいことを考え、発表する。(思考・判断・表現) □積極的に自分について発信しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・ワークシートを使う。 ・発表の仕方のポイントを分かりやすく提示する。 ・ICT機器を活用して、理解を深める。
5	助詞の学習	7	〇助詞の役割を学び、活用して短文を作ることができる。 □穴埋め問題で適切な助詞を選ぶ。(知識・技能) □助詞を活用して三語文を作成する。(思考・判断・表現) □主体的に助詞を活用して会話しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・名詞と動詞と助詞のカードを使い、使い方の定着を図る。 ・生徒の実態に応じたワークシートを作成する。
6	動詞の学習	9	〇動詞の種類を知り、意味を理解し、正しい使い方を覚える。 □イラストや画像を使って、その動きと動詞を一致させる。(知識・技能) □動詞を使って短い文を作る。(思考・判断・表現)		・ワークシートでポイントを分かりやすく整理する。 ・複合動詞を効果的に使えるよう助言する。
7	メモを取ろう	6	〇話を要点を聞き取り、メモに取ることができる。 □話を聞いて、メモに取るべき要点を聞き取る。(知識・技能) □話を聞きながら、要点をメモに取る。(思考・判断・表現) □注意深く話を聞き、要点をメモに取ろうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・短文を作る際、書き方の型を提示する。 ・生徒の実態に応じたワークシートを作成する。
9	物語を読もう	8	〇物語の読み聞かせから、話の内容について理解することができる。 □読み聞かせを聞いて、話のあらすじを知る。(知識・技能) □話の内容について質問に適切に答える。(思考・判断・表現) □話の内容に興味関心をもって聞く。(主体的に学習に取り組む態度)		・生徒の実態に応じたワークシートを作成する。 ・比較的短い物語を選択し、読み聞かせや動画視聴を重ねることで、内容の読解につなげる。
10	俳句	7	〇適切に季節を活用し、俳句を詠むことができる。 □俳句の中の季節が分かる。(知識・技能) □自分が感じたことを、五・七・五で表現しようとしている。(思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)		・季節に関する言葉を提示する。 ・生徒の実態に応じたワークシートを作成する。
11	説明文	8	〇説明文を読み、段落の役割などに着目し、文章の構成を捉える。 □辞書を使って、語句の意味調べ、言葉の意味を理解する。(知識・技能) □文章を読み、設問の意味を理解して答える。(思考・判断・表現)		・日常生活に身近なものから、やや難解な読解まで幅広く取り扱い、生活に生かせるようにする。
12	表現力を高めよう	8	〇劇の内容を理解し、役の台詞(動き)を覚え表現することができる。 □劇のストーリーの読み聞かせを聞いて、自分の役割を知る。(知識・技能) □自分の役柄の台詞や動きを理解し表現する。(思考・判断・表現) □役柄の特徴を知り、工夫して表現しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・文化祭の劇の台本をより理解できるように、ICT機器を活用して、イメージを広げる。
1	書写(書道)	5	〇毛筆で自分の好きな文字や形を書くことができる。 □毛筆で自分の好きな文字や形を書く。(知識・技能) □手本として示された文字や形を書写する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・手本を用意し、毛筆書写のポイントを伝える。 ・書きたい文字が決まったら、手本を用意し、手本を書写する。
2	詩	7	〇1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) □詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。 □感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・メモを活用することで発想を広げることが助言する。
3	作文	6	〇1年間を振り返り、経験したことと気持ちを文章にまとめることができる。 □VTR教材を活用し、経験したことを整理してまとめる。(知識・技能) □印象に残った出来事や思いを文章で表現する。(思考・判断・表現) □自分の経験等を積極的に発表しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・ICT機器を活用して1年間を振り返る。 ・自分の経験や感想を表現できるように、個別に質問して引き出す。
備考		年間を通して、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題(漢字・手紙の書き方等の課題等含む)にも取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・6グループ		担当者名	○堀 雅秀
教科・領域名		国語			
ね ら い		(1)日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (2)日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 (3)言葉のよさに気付くとともに、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・7時間目・14:15～15:05 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		学習室			
年間授業時数		78 時間			
使用教科書		改訂新版 くらしに役立つ国語(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	自己紹介	7	○自己紹介で相手に知ってもらいたい内容を整理して伝えることができる。 □必要な内容について整理し、プリントにまとめる。(知識・技能) □自分が相手に伝えたいことをまとめ、制限時間内に発表する。(思考・判断・表現) □相手に分かりやすく発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)		・項目を整理して提示し、プリントに記入できるようにする。 ・発表場面では、発表の仕方のポイントを分かりやすく提示する。
5	助詞・副詞・修飾語	7	○助詞・副詞・修飾語の役割を学び、活用して文章を作ることができる。 □文脈から適切な助詞・副詞・修飾語を選ぶ。(知識・技能) □適切に助詞・副詞・修飾語を使って話す。(思考・判断・表現) □主体的に助詞・副詞・修飾語を活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・視覚的に分かりやすい教材を用いる。 ・日常生活で使用する助詞を中心に取り上げる。
6	説明文の読解	9	○説明文を読み、段落の役割などに着目し、文章の構成を捉える。 □辞書を使って、語句の意味調べ、言葉の意味を理解する。(知識・技能) □文章を読み、設問の意味を理解して答える。(思考・判断・表現)		・日常生活に身近なものから、やや難解な読解まで幅広く取り扱い、生活に生かせるようにする。
7	ことわざ、慣用句、四字熟語	6	○ことわざ、慣用句、四字熟語の種類を知る。 □意味を調べて理解し、正しい使い方を覚える。(知識及び技能) □ことわざ、慣用句、四字熟語を使って短い文を作る。(思考・判断・表現) □ことわざ、慣用句、四字熟語を使って話そうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・日常生活に生かせるように、身近なことわざ、慣用句、四字熟語を紹介する。
9	インタビュー	8	○相手から得たい情報を整理し、適切にインタビューすることができる。 □聞きたい情報を整理し、質問をまとめる。(知識・技能) □相手の回答に応じて、聞き方を工夫する。(思考・判断・表現) □自分から積極的に質問しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・メモの取り方も合わせて学び、質問の仕方、答え方、会話の進め方等を包括的に学べるようにする。
10	俳句	7	○適切に季語を活用し、俳句を詠むことができる。 □俳句の中の季語が分かる。(知識・技能) □自分が感じたことを、五・七・五で表現しようとしている。(思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)		・古典だけでなく同年代の作者の俳句なども鑑賞する。 ・季語を理解しやすいよう、表を作成する。
11	敬語の学習	8	○適切な敬語(丁寧語・尊敬語・謙譲語)を活用し、話すことができる。 □どのような場面で敬語を使うことが適切かを知る。(知識・技能) □話し言葉を丁寧語・尊敬語・謙譲語に直して話す。(思考・判断・表現) □自分から敬語を使って話す。(主体的に学習に取り組む態度)		・ワークシートを活用し、敬語を書き換える学習を通して定着を図る。 ・ロールプレイなどを通して身に付けられるようにする。
12	表現力を高めよう	8	○劇の内容と自分の役割を理解し、工夫して表現することができる。 □自分の役割と全体の流れの関連性を知る。(知識・技能) □物語の内容から自分の台詞や動きを工夫して表現する。(思考・判断・表現) □役柄や流れについての工夫を提案をする。(主体的に学習に取り組む態度)		・文化祭の劇の台本をより理解できるように、ICT機器を活用して、イメージを広げる。
1	書写(書道)	5	○毛筆で自分の好きな言葉や抱負を書くことができる。 □正しい姿勢で適切に毛筆を持ち、きれいに字を書く。(知識・技能) □自分の好きな言葉や抱負を毛筆で表現する。(思考・判断・表現) □進んで毛筆での書写に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・導入で書家の動画を見るなど、毛筆で書く際の注意点を知って、丁寧に取り組めるようにする。
2	詩	7	○1つ1つの言葉の意味を理解し、読み方を工夫して音読する。 □詩の朗読や群読をする。(思考・判断・表現) ○詩の内容を正しく理解し、同じ形式の詩を自分で作る。 □感じたことを詩で表現しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・メモを活用することで発想を広げ、助言すること。
3	作文	6	○1年間を振り返り、経験したことや気持ちを文章にまとめることができる。 □経験したことを整理してまとめる。(知識・技能) □印象に残った出来事や思いを文章で表現する。(思考・判断・表現) □自分の経験等を積極的に発表しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・起承転結の文を作れるようワークシートを活用し、それぞれの項目を書き込んだ後に作文する流れにする。
備考		年間を通して、個々の課題及び学習状況に応じた個別課題(漢字・手紙の書き方等の課題等含む)にも取り組む。			